

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000266
事業所名	愛の家グループホーム豊田松ヶ枝

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームは市中心部の商業地に立地し、民家が少ない中で、可能な交流を模索している。 町内会の徘徊者発見訓練への参加、中学生職場体験の受け入れ、高校では認知症講習会を開き、福祉体験学習を受け入れた。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 利用者、多くの家族、区長や区福祉担当者等の地域代表、時にはボランティアも参加して、運営推進介護を年6回開催している。 ホームの現状や取り組みを紹介し、参加者からは多くの質問や意見が出され、活気ある会議となっている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の介護保険課に運営推進会議の議事録を毎回持参している。 グループホーム連絡協議会に参加しており、市への要望は協議会を通じて届けられている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の来訪時や多くの家族が参加する運営推進会議において、家族から意見や要望が伝えられる関係が構築されている。 ホーム祭り等の行事には家族から手伝いの申し出があり、職員と一緒に活躍している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	-	-	-	-	○	×	×	×	×		